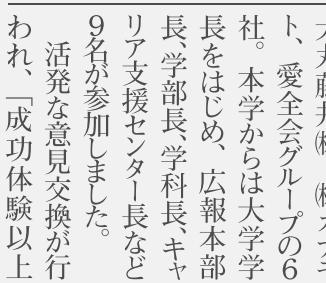


2013 September~2014 February campus Archive

キャンパス・アーカイブ 2013年9月~2014年2月の出来事



昨年9月29日、空知管内の奈井江町と本学が双方の資源を活用した包括的な地域連携協定を結びました。奈井町では、地域交流プラザ「みんなく」が10月1日に具現化する場として位置づけ、締結に至りました。

さっそく10月には障がい者フォーラムや子どもフェスタなどのイベントに開催されました。その活用にあたり連携の提案をいただき、本学も地域貢献が実現するため、月形町と北翔大学が包括連携協定を締結。両町との連携は、今後もさまざま取り組みを通じて発展させていきます。

人間福祉学部や短期大学部ごとも学科の学生が参加。11月には生涯スポーツ学部による健康講話なども実施しました。「みんなく」ホールへ一歩踏み出た。この活動には芸術メディア学科が協力しています。

また、同様の連携を実現するため、1月10日には同管内の月形町と北翔大学が包括連携協定を締結。両町との連携は、今後もさまざま取り組みを通じて発展させていきます。

大丸藤井株式会社、愛企画グループの6社。本学からは大学学長をはじめ、広報本部長、学部長、学科長、キャリア支援センター長など9名が参加しました。

活発な意見交換が行われ、「成功体験以上

奈井江町・月形町と 地域連携協定を締結

本学は昨年9月25日、北海道体育文化協会(野幌総合運動公園)と「スポーツ普及振興事業等に関する包括連携・協力協定」を締結しました。当日は佐々木亮子理事長らを本学にお迎えし、調印式を執り行いました。

この協定に基づき、本学は佐々木亮子理事長らを本学にお迎えし、調印式を執り行いました。

昨年11月には取り組みの第1弾として、江別市内の中学生を対象に陸上クリーンを開催しました。今後も地域貢献大学としての取り組みをいつそう発展させ、豊かな社会生活の実現をめざします。



本学は野幌総合運動公園を利用したスポーツ普及振興に協力し、北海道体育文化協会は本学の「愛と和と英知」という教育理念に基づく教育事業の発展に協力くださいます。

昨年11月には取り組みの第1弾として、江別市内の中学生を対象に陸上クリーンを開催しました。今後も地域貢献大学としての取り組みをいつそう発展させ、豊かな社会生活の実現をめざします。

北海道体育文化協会と 包括連携・協力協定を締結

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

私立大学等改革総合支援事業に 私選定されました

一方、本学からは、事前に生徒のニーズに関するアンケート調査を行ってから出前講義のテーマを決めると、より実りある講義ができるのであります。

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定

高大連携校との 情報交換会を開催

旭川龍谷高校と 高大連携協定

旭川龍谷高校と 高大連携協定</

高齢期の心理的支援について 対人援助研究会を開催

昨年11月19日、今年度5回目の『対人援助研究会』が開催されました。これは「乳幼児から高齢者までのライフサイクルにおける課題と支援を考える」というテーマのもと、臨床心理センター運営委員の教員が講演やワークショップを行なうものです。

見ど、自身の臨床経験をふまえて、話題提供がなされました。

エクスティンションセンターでは昨年11月6～12日、ソウル市の交流協定校、培花女子大学校で韓国文化研修を実施。大学

にも案内してもらい、楽しい時間はあつという間に過ぎたそです。このほか幼稚園訪問や日本語を学ぶ学生と

現在建設中の新2号棟は、保育者の専門性をより育てる空間として、保育士養成課程の演習・実習・実技に使

育演習室」があり、パネルシアターや絵本の制作、紙・布・木などを使った大小の遊具づくりなど多様な表現演習・実習

予定。在学生をはじめ
来学される皆さまには

通行上のご不便をおかけは
していますが、ご理解と
ご協力のほどよろしくお
願いたします。

おとぎ 『を開催

工 クステノショソンセンター主催の
韓国文化研修に学生7名が参加

保育者の専門性を育てる空間
新2号棟、建設中！

12

に幅広く使用します。
完成は、今年3月の
定。在学生をはじめ
学される皆さまにこ

通行上のご不便をおかけは
していますが、ご理解と
ご協力のほどよろしくお
願いたします。

生涯学習 次回開催日

奈井江町でスポーツ教育学科の学生が『みなくるカップ』を開催



昨年11月22日、スポーツ教育学科の3年生10名が、奈井江町にある交流プラザ「みなクル」で地域の高齢者を対象とした室内レクリエーション『みなクルカッป』を開催しました。奈井江町と本学は、今年度から地域連携協定を結んでおり、今回のイベントは地域連携事業の一環として

行つたものです。

『みなクルカップ』とは、みなクルの施設内に5つのポイント(ラダーゲッター、スカットボール、瞬間記憶ゲーム、重量当てゲーム、みなクルクイズ)を設置し、グループで各ポイントを巡る室内ウォークラリーのことです。企画から運営までをすべて学生が行いました。イベントには69名の方が参加。みなクル内は活気あふれる雰囲気となり、たくさんの笑顔があふれていました。参加した地域の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくことができ、学生も団体の成長を活かすよい機会になりました。

短期大學部二 - 7

創立50周年・学外発表会で「創立者浅井淑子メモリアル」

昨年9月5日、短期大学部は創立50周年を迎えました。これもひとえに皆さまのご支援とご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

学園創立者の浅井淑子は1939年、女性にふさわしい職業的技能と幅広い教養をもつ女性の自立をめざし、北海道レスメーカー＝女子学園を創設しました。1953年にはパリでヨーロッパの清新な感性と技術を学び、

 1956年に新校舎の大講堂で開催した「第9回春夏ファッショショ」には、道内各地から約3,000人が詰めかけました。そして1963年4月、現在の短期大学部の前身である北海道女子短期大学被服学科の開学に至ったのです。

「純化された大きな愛と愛による和の精神」を学園の教育の根本に据え、女子教育にその一生涯を捧げました。現在、この精神とともに受け継がれているのがファッショショナーであり、上の記事にあるとおり、毎年素晴らしい成果が披露されています。今回は「創立者浅井淑子メモリアル」と題したパートも開いて50周年を祝いました。



Give Me Give!

Club, Circle and Other Activities

○2区／区間1位・最優秀選手賞
吉田麻美（スボーツ教育学科1年 恵庭南高校出身）
○3区／区間1位
吉川梨子（こども学科長期履修3年 札幌啓成高校出身）

前述の結果を受け、昨年10月27日に宮城県仙台市で開催された第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に、陸上競技部女子駅伝チームが15年ぶり11回目の出場を果たしました。

A black and white photograph of three female athletes standing on a podium at a track and field stadium. The athlete in the center is holding a large trophy and a certificate. They are all smiling and looking towards the camera. The background shows the stadium stands and the running tracks.

昨年12月11～21日にイタリア・トレントで開催された『第26回 バーシアード冬季競技大会』。その日本代表団に生涯スポーツ学部

石から、渡辺さん、森竹さん、相田さん
を世界にとどろかせてください」と激励しました
ださい」と激励しました
大会では4選手が躍動。個人競技では、
ピードスケート男子100mの大和田真まさ
(スポーツ教育学科4年)
がトップと2秒67差の1
分50秒47で8位を記録。
渡辺大介さん(スボー
教育学科3年)は14位

日本統治時代における政治問題と社会運動

昨年11月1日から図書館利用ポイントカードを発行しました。入館して1ポイント、図書などを借りて1ポイント。50ポイントたまると文房具やファッショングッズなどと交換できます。12月20日までの期間限定キャンペーンとして始めましたが、好評のため現在も継続しています。



さて、今回は100ポイントで「選書ツアー参加券」が当たりました。図書館の蔵書を書店で選ぶ楽しいツアーツアーの券が獲得になりました。

12月21日、本学では初めての選書ツアーを紀伊國屋書店札幌本店で開催しました。当日は学生参加者と図書館員が午前10時に同店4階のイベント

スペース「インナーガーデン」に集合。同社営業部長の大場さん、営業部の大谷さんに本のバーコードを読み込む「ハンディターミナル」なるものの扱い方を教わりました。

本を選ぶ条件は2つ。①自分が読みたい。②ほかの学生にも役に立つ。「超ハイテンションになったら、これを見て我に返ってね」と、この言葉を印刷した紙を図書館職員から渡され、いざ80万冊の本の森へ。12時30分までの約2時間、広大な店内をさまよい、再び集合したときには故心状態でした。

この日選んだ本は、選んだ本人のコメントを添えて図書館1階ラーニングコモンズに展示しました。次回のツアーやは平成26年6月開催の予定です。

北翔大学



イスホッケー女子日本代表に、本学の卒業生と在学生を合わせて4名が選出されました。短期大学部を卒業した久保英恵さん(SETIBUプリソナースラビッツ)と坂上智子さん(三星ダイヤモード・ペリグリン)、スポーツ教育学科4年の堀珠花さん(トヨタシングナス)と同3年の藤本もえこさん(三星ダイヤモード・ペリグリン)です。

そこで本学では、大會直前の1月15日、『2



今回の五輪には、前回のバンクーバーに引き続き、スポーツ教育学科の吉田真准教授が日本代表選手団メディアカルスタッフとして帯同することが決まり、選手とともに激励を受けました。



音楽療法研究会 心音

ソチ五輪に出場するア
イスホッケー女子日本代
表に、本学の卒業生と
在学生を合わせて4名
が選出されました。短
期大学部を卒業した久
保英恵さん(SETIBU
プリンセスラビッツ)と坂
上智子さん(三星ダイ
ソー・ペリグリン)、スボーツ
教育学科生の鷲井花

代表選手たちを激励する壮行会を開催しました



左から吉田真准教授、坂上さん、久保さん、藤本さん、堀さん

面から体調を万全に整え、アグレッシブに勝ち進んでいかれることを期待しています」と述べました。

男女ともに
北海道を制し全国へ

スポーツエアロビック部 「世界選手権の 日本代表に選出



で開催される国際体操連盟(F.I.G.)主催『世界アロビック選手権大会』と、4月に東京で行われる『ズズキワールドカップ』に日本代表として出場することが決まりました。また、F.I.G.ワールドカップシリーズにも日本代表として参戦する予定です。

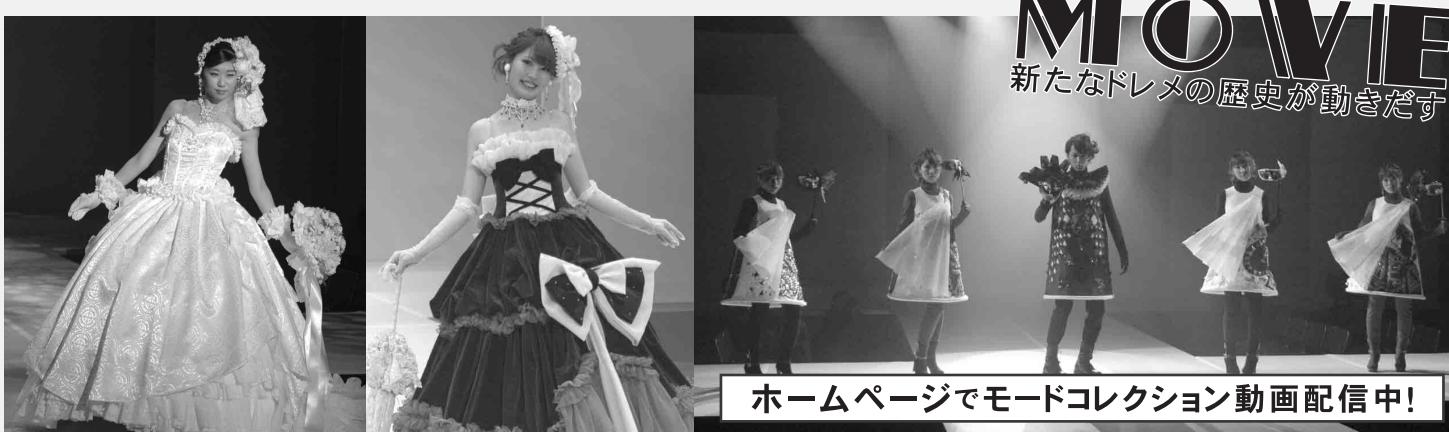
N1 MODE GRAND PRIX NDC賞 (準グランプリ)



専攻科ディレクションコース 伊藤 実咲

74th HOKKAIDO DRESS MAKER COLLEGE 2013
MODE COLLECTION 12.7 sat

昨年12月7日(土)「モードコレクション2013-MOVE-」をポルトホールで開催しました。多くの方にご来場頂き、ドレメ生の集大成作品をご覧頂きました。■ ■ ■



北海道ドレスメーカー学院:D <http://www.doreme.ac.jp/>

